

善光寺和讃

歸命頂礼善光寺 如来の元は天竺の月
蓋長者の縁にして日本へ亘らせ給うな
り 守屋大臣悪心で難波の池に沈め置
く水は濁れど其の中に光明輝き呼ばわ
れば善光そばへ立よれば我を信濃に守
り行け善光如来を背に負い 川中島に
納め置く如来我等を清淨と憐み給う御
心で天の河原の川風の弘誓の船にぞ迎
いくる 船は銅體は黄金諸神諸菩薩乘
合て中にも般若の風が吹く羯諦羯諦の
浪も打つ地蔵菩薩は楫の役観音勢至が
體擢とり六字の名号を帆にあげて西へ
西へと漕ぎ行けば西は西方極楽の弥陀
の淨土に着きにけり
南無阿弥陀仏
如来の御返事にいわく
我衆生待つこと心閒無し 汝能く濟度
す豈護らざらんや

為

令和 年 月 日

淨写